

蓄光 (BB9845～9847)

光のエネルギーを蓄え、暗所で柄が光る壁紙です。

発光するためには、光エネルギーを蓄える必要があります。光源は家庭用の一般照明で十分効果が出ます。



LED
対応

蓄光壁紙選択上のご注意

- LED照明、蛍光灯、自然光、ブラックライトに効果があります。※光源の種類や光源との距離により光る強さは異なります。
- 白熱電球では効果が得られません。ご了承ください。
- 蓄光・発光は何度でも繰り返すことが出来ます。
- 消灯後、時間とともに輝きが少なくなっていきます。
- 輝度は周囲の明るさによって相対的に変わります。
- 蓄光機能は光の性質で変わります。蓄光顔料は365nm付近の短波長の光を多く含む光源が有効に働きますので、赤色光、ナトリウムランプなどの黄色光では効率的に光りません。白色蛍光灯の方が有効に働きます。
- 全てのLED光源で十分な発光が得られるとは限りません。LED光源を用いる場合、電球色より昼白色または昼白色がより有効に働きます。
- 水分と接触すると発光性能が低下することがあります。

ブラックライトを照射すれば発光を持続させることが出来ます。

可視光線以外の近紫外線以外を効率よく放射するブラックライトを使用すると、永続的に発光させることが出来ます。

ブラックライト使用上のご注意

- ブラックライトの取り付けについては、6畳の天井に張られた蓄光壁紙に向けて下から照射するケースでは、20ワットの電灯2本分の照射が必要です。天井に張られた蓄光壁紙に天井部分から照射するケースでは、40ワットの電灯を1.5m間隔位に何個も照射しないと十分ではありません。電灯の位置関係、取り付け具合、部屋の暗さでかなりの差が生じますのでお含みください。ご使用に関しては照明の専門業者にご相談ください。
- 壁紙の劣化を防ぐためには、ブラックライトは1m以上離して設置してください。
- 特に広い面積を均一に発光させることは困難ですでお含みください。
- 周りが明るい状態のままでは発光効果が十分に得られませんので、対象となる壁紙面は暗く出来るように照明の設定を行ってください。室内のメインとなる照明は消し、フットライトで足下の明かりを確保するなど、壁紙面に対して影響の少ない照明を考慮してください。

蓄光顔料は危険な放射性物質を一切含んでいません。安心してご使用ください。